

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
II-1-(2)- ① 医療・救 急体制の 充実	1	④	③ ④	応急手当の普及啓 発活動の推進	救急 課	市民の救命効果の向上 を図るため、AEDを含め た応急手当の普及啓発活 動を推進する。	応急手当講習の受講 者数	現状値 （基準値）	40,000 人	40,000 人	40,000 人	応急手当講 習の受講者 数の増加	継続	2,038	1,734	減額	20,370	課長	0.13 人	順調	応急手当の必要性をより多く の市民に理解していただくよ う、積極的に普及啓発活動を行 う。	順調	市民の救命効果の向上を図る ため、AEDを含めた応急手当の普 及啓発活動を推進するととも に、計画的に救急救命士を養成 する。
								実績	40,620 人									係長	0.50 人				
								達成率	101.6 %									職員	1.85 人				
	2	⑪	⑪	救急体制の充実強 化	救急 課	質の高い救急救命処置 を提供できる体制に向 け、計画的に救急救命士 を養成する。 また、救急救命士の処 置範囲の拡大に対応でき るよう追加講習を受講さ せる。	高度かつ安全で確 実・迅速な救命処置	—	—	—	高度かつ安 全で確実・ 迅速な救命 処置	継続	17,870	16,107	減額	20,370	課長	0.13 人	順調	引き続き計画的に救急救命士 を養成する。			
							実績	—								係長	0.50 人						
							達成率	—									職員	1.85 人					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要目標番号	SDGs 副目標番号	基本計画の施策を構成する 主要事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費の 増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
II-1-(4)-③ 総合的な消防防災体制の構築	3	⑪	⑪	自主防災活動の推進	消防団・市民防災課	地域防災力の向上を目的として、市民防災会の活動支援と訓練指導等に当たる。	全193地区における市民防災推進行事への年1回以上の参加	目標	193 地区・回	193 地区・回	193 地区・回	全193地区・回 (毎年度)	継続	6,596	6,596	維持	5,800	課長	0.20 人	順調	市民防災会に対する訓練指導等の支援を引き続き推進するとともに、防災リーダー研修による防災リーダーの養成などを通じて、更なる地域防災力の向上を図る。	順調	地域防災力の向上を目的として、市民防災会の活動支援や訓練指導等を行う。住宅防火対策の推進については、高齢者世帯等への設置促進や適切な維持管理方法について、広報活動を引き続き行い、火災や焼死事故等の防止に努める。また、地域防災の拠点となる消防施設の整備と耐震化を計画的に進めるとともに、若者が魅力を感じる消防団づくりを推進し、入団促進と機能強化を図る。
								実績	193 地区・回									係長	0.20 人				
								達成率	100.0 %									職員	0.20 人				
	4	⑪	⑪	住宅防火対策の推進	予防課	高齢者・障害者等の世帯への訪問活動を行い、防火・防災啓発に努めるとともに、火災や焼死事故等の防止に努める。	住宅用火災警報器の設置率	目標	81.6 %	82.3 %	全国の平均設置率と同程度	住宅用火災警報器の設置率向上	継続	985	936	維持	24,700	課長	0.80 人	順調	近年の焼死事故の状況を踏まえ、高齢者等を含む世帯に対して防火指導を継続するとともに、住宅用火災警報器の設置促進を図る。また、住宅用火災警報器の設置義務化から10年が経過し、今後、電池切れの増加が見込まれることから、警報器本体の交換を含む、定期的な点検や清掃などの維持管理の啓発を強化する。併せて「無線式連動型」の普及に向けた啓発を行う。		
実績								87 %			係長							0.80 人					
達成率								106.6 %			職員							1.00 人					
5	⑪	⑪	消防団の充実強化	消防団・市民防災課	老朽化した消防団施設を計画的に整備するとともに、消防団の装備を改善し、消防団の充実強化を図る。	消防団施設整備による地域防災力の向上	目標	1 施設	2 施設	2 施設	地域防災力の向上	継続	122,905	115,776	減額	5,470	課長	0.03 人	大変順調	建て替えが必要な消防団施設について、計画的に建て替えを行う。消防団資器材については、活動用資器材や被服を計画的に配置する。また、大学や地域のイベントで、入団促進のPRを行うなど、消防団員の充足率向上を図る。			
							実績	2 施設									係長	0.10 人					
							達成率	200.0 %									職員	0.55 人					
						消防団員の充足率	目標	95.5 %	96.0 %	96.0 %	96.0% (R2年度)	継続	122,905	115,776	減額	5,470	課長	0.10 人	職員	0.55 人			
							実績	93.2 %															
							達成率	97.6 %															
6	⑪	⑪	消防署・分署の適正配置・整備	総務課	人口動態や都市構造の変化、災害の大規模化など、消防を取り巻く環境の変化に対応した消防力（消防署・分署の適正配置・整備）を整備する。また、市民サービスの公平性の観点から、消防署・分署の適正配置や効率・効果的な部隊運用を推進する。	門司区の消防機能の強化	目標	建築工事 竣工			R1年度 開署	継続	766,400	695,900	減額	9,470	課長	0.03 人	順調	（仮称）八幡西消防署楠橋分署等の整備事業を行い、本市のさらなる消防力の強化を図っていく。令和2年度においても、スケジュールに沿った事業管理を行い、順調に進捗させる。			
							実績	建築工事 竣工															
							達成率	—															
						八幡西区の消防機能の強化	目標	建築工事	建築工事 竣工		R1年度 開署	継続	766,400	695,900	減額	9,470	係長	0.50 人	職員	0.55 人			
							実績	建築工事															
							達成率	—															
						八幡西区の消防機能の強化	目標	—		建築工事 竣工	R2年度 竣工	継続	766,400	695,900	減額	9,470	係長	0.50 人	職員	0.55 人			
							実績	—															
							達成率	—															
						若松区の消防機能の強化と適正配置	目標	—		建築工事 竣工	R2年度 竣工	継続	766,400	695,900	減額	9,470	係長	0.50 人	職員	0.55 人			
							実績	—															
							達成率	—															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
	7	⑪	⑪	消防団施設の耐震化	消防団・市民防災課	災害発生時において防災拠点となる消防団施設の耐震化を促進するため、耐震診断の結果に基づき、耐震補強計画を作成し、耐震補強工事を実施する。	消防団施設の耐震化	消防団施設 耐震：69 未耐震：19 H31.4現在	目標 工事2施設 設計3施設	工事2施設 計画1施設	工事3施設 設計3施設	耐震化 完了 (R5年度)	継続	11,800	11,500	維持	11,285	課長 0.09 人	係長 0.20 人	職員 1.10 人	順調	耐震補強計画を見直し、令和5年度内に事業を確実に完了させる。		
II-2-(1)- ③ 住み慣れた地域での生活支援	8	⑪	③ ⑪	あんしん通報システム	予防課	高齢社会の更なる進展等を踏まえ、現行の「緊急通報システム」のサービス内容の充実を図り、新たに「あんしん通報システム」の運用を開始する。看護師等による通年24時間受付可能な相談体制の充実や、緊急時の対応強化策として、民間の警備員が駆け付けるなど、高齢者等が住み慣れた家庭で、安心して生活できるよう支援する。	高齢者等の安全・安心な生活の実現	—	目標 —	—	—	高齢者等の安全・安心な生活の実現	継続	66,237	64,852	維持	9,050	課長 0.20 人	係長 0.30 人	職員 0.50 人	順調	様々な広告媒体等を活用した事業PRを実施し、新規利用者の獲得を推進する。	順調	様々な広告媒体等を活用した事業PRを実施し、「あんしん通報システム」の新規利用者の獲得を推進する。 また、近年増加している大雨災害等を踏まえ、防災時の指導・啓発を強化し、高齢者の安全・安心の向上を図る。
	9	⑪	⑪	いきいき安心訪問	消防団・市民防災課	介護職員初任者研修を修了した消防団員が中心となり、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災や家庭内での事故防止の指導、簡単な身の回りのお世話をを行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、高齢者の安全・安心の向上を図る。	火災や重大事故発生の未然防止	—	目標 —	—	—	火災や重大事故発生の未然防止	継続	7,498	7,234	維持	990	課長 0.01 人	係長 0.05 人	職員 0.05 人	順調	近年増加している大雨災害等を踏まえ、防災指導・啓発を強化し、高齢者の安全・安心の向上を図る。		
II-3-(4)- ② 国際協力・交流の推進	10	⑪	④ ⑩ ⑪ ⑬ ⑮ ⑰	【施策評価のみ】アジアの消防リーダーとしての国際協力	訓練研修センター	【施策の内容】アジア地域の消防関係者を受け入れ、北九州市消防局の消防・防災に関する技術移転を行う。 【施策の指標】アジア地域からの研修員受け入れ継続	アジア地域からの研修員受け入れ継続	目標 受入	受入	受入	アジア地域からの研修員受け入れ継続	継続	—	—	—	—	—	課長 — 人	係長 — 人	職員 — 人	—	—	引き続き、国際協力機構（JICA）と連携し、更にアジア地域の研修員が増加するよう呼び掛け等を行う。	大変 順調

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
Ⅲ-2-(2)- ② 市民の文化 芸術活動の 促進	11	⑪	④ ⑪ ⑬ ⑯	消防音楽隊による 文化活動	訓練 研修 センター	市主催の式典や消防の 各種行事等に出演し、市 民参加向上の役割を担う とともに、音楽隊の演奏 やカラーガード隊の演技 を通じて、市のPR活動や 防火・防災啓発活動を実 施する。 併せて、児童の健全な 育成等に寄与することを 目的に、教育機関と連携 し、積極的に児童教育に 貢献する。	音楽を通じた安全安 心の提供及び防火・ 防災普及啓発	1回開催 (H28年 度)	目標 2 回	2 回	2回開催 (毎年度)	継続	6,781	6,781	維持	4,615	課長	0.01 人	順調	ホームページの更新、SNS、市 政だより等を活用して、市民向 け行事の周知と消防音楽隊の知 名度の向上を図る。 また、広報活動への参加者数 の増加につなげ、市民の防火・ 防災意識の向上、消防音楽隊の 演奏演技を通じた児童の健全な 育成を図る。  【指標追加・廃止の理由】 防火・防災啓発活動の効果を より正確に図るため、指標を消 防音楽隊出演の聴衆者数に変更 した。	順調	引き続き、ホームページやSNS を活用した広報活動を継続する とともに、音楽を通じた安全安 心の提供と防火・防災普及啓発 を行う。	
							※指標廃止	実績 0 回			95,000 人						95,000人 (毎年度)	係長					0.15 人
							消防音楽隊出演の聴 衆者数	95,402人 (H30年 度)	目標 95,000 人								95,000人 (毎年度)	職員					0.40 人
Ⅶ-1-(3)- ② 上下水 道、消 防、交 通など の分野 における 国際協 力の推 進	12	⑯	④ ⑩ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰	【施策評価のみ】 アジアの消防リー ダーとしての国際 協力	訓練 研修 センター	【施策の内容】 アジア地域の消防関係 者を受け入れ、北九州市 消防局の消防・防災に関 する技術移転を行う。	【施策の指標】 アジア地域からの研 修員受け入れ継続	アジア地域 からの研修 員受け入れ 継続	目標 受入	受入	受入	継続	-	-	-	-	課長	- 人	-	-	大変 順調	引き続き、国際協力機構 (JICA)と連携し、更にアジア 地域の研修員が増加するよう呼 び掛け等を行う。	
							【指標追加・廃止の理由】 防火・防災啓発活動の効果を より正確に図るため、指標を消 防音楽隊出演の聴衆者数に変更 した。	実績 41 名										係長					- 人
							達成率 -											職員					- 人